



柏原中だより

令和6年3月 年度未特別号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 269名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

第42回卒業証書授与式・92名の卒業生柏中を巣立つ <3月15日>

第42回卒業証書授与式が、3月15日（金）に本校体育館で挙行されました。ご来賓として狭山市教育委員会生涯学習部次長 様、狭山市議会議員 様、様、本校PTA会長 様ご臨席のもと、柏原地区学校運営協議委員の皆様、保護者の皆様にご出席をいただき、92名の3年生の卒業をお祝いすることができました。本校PTA会長の 様からは、「人生の歩み方は個々に違います。長所を伸ばし、短所を補いながら、ここぞというときには自分のペースで人生を歩んでください。先生方の温かい指導を受けてきた皆さんには、どんな夢でも実現してしまえるくらいの可能性が備わっています。」と、今後の卒業生の活躍を期待する言葉が贈られました。その後、卒業生を送る言葉として、在校生代表で生徒会長の さんからは、「先輩方はいつも学校のリーダーとして私達を導いてくださいました。」と卒業生への感謝や「今まで先輩方が作り上げてくださった伝統や、行事や部活などに込める思いなど「心」の部分もしっかり受け継いでいこうと思います。」と、力強い決意が述べられました。これに対し、前生徒会長の さんが、別れの言葉として、3年間の中学校生活を振り返り、その中で、音楽会で学年主任の 先生が選んでくれた「群青」への思い、 先生への感謝や「柏原中学校で過ごした三年間は、一生の宝物です。すばらしい三年間を過ごせたのは、たくさんの人たちに支えられたおかげです。」と先生方や保護者の方々への感謝の気持ちを述べられました。そして、「一人一人が力を合わせて、柏原中学校をさらに笑顔のあふれる学校にしていってください。」と、在校生を励ます言葉で応えました。 さんと さん、2人の代表の言葉はそれぞれの思いが込められ、素晴らしいものでした。全校合唱「旅立ちの日に」は さんが指揮、卒業生合唱「群青」は さんが指揮、 さんが2曲とも伴奏を務めてくれ、とても感動的な歌でした。暖かな好天にも恵まれ、厳粛な中にも出席者全員の気持ちが通い合う、感動的な素晴らしい式になりました。皆様、本当にありがとうございました。

卒業証書授与	校長式辞	送る言葉	別れの言葉

全校合唱「旅立ちの日に」 卒業生合唱「群青」 卒業生の門出 3学年担当職員

おめでとう！ 柏原中生、活躍しています！（敬称略）

令和5年度スポーツ教育長表彰 2月29日

2-1 : アイスホッケー（埼玉県選抜チームで全日本女子第3位）



令和5年度埼玉県郡市対抗学年別中学生ソフトテニス大会 3月2日

1-3 : 出場認定証（地区代表として出場）

埼玉県バレーボール協会長杯狭山市予選会 3月3日（他西武学園文理中2名）

準優勝： 、 、 、 、 、

※ 卒業式で述べられた、生徒代表の言葉を掲載します。

「卒業生を送る言葉」

やわらかな日差しがそそぎ、春の訪れを感じられる季節となりました。卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方と過ごした二年間は、私達にとって、とても大切でかけがえのない思い出です。先輩方がいらっしやらない明日からの柏原中のことを思うと、不安と寂しさでいっぱいになります。振り返ってみると先輩方は、いつも私達の手本となり引っ張ってくださいました。

コロナ禍が明け、初めての体育祭。また、一から体育祭を作り上げていかなければならないという重圧に、押しつぶされそうになったこともあったと思います。ですが、先輩方はそんな姿を見せることなく、隣でダンスを教えてくれ、「上手だね」「よくなってるよ」と励ましてくださいました。体育祭当日、私達は先輩方の表情や競技への姿勢に圧倒されました。なかでも、三年生の全員リレーでは、先輩方の力になりたいという一心で、応援席から身を乗り出し、大声で応援することができました。これは、練習の過程で、先輩方が「仲間を応援すること」の楽しさを教えてくださったからできたことです。素晴らしい体育祭を作り上げてくださったことへの「感謝」だけでなく、先輩方に対する「憧れ」がより強くなりました。

音楽会では、先輩方と合同練習をしたのがとても印象的です。先輩方の歌は一つ一つの歌詞がよく伝わってきました。歌とは、言葉に思いをのせて届けるものなのだと感じ、感動しました。それだけでなく、たくさんアドバイスをしていただき、よりクラス合唱のレベルや表現の仕方を磨くことができました。音楽会当日、「頑張ってるね」「金賞取るうね」や「上手だったよ」という言葉一つ一つがとてもうれしかったです。

部活動では、いつも私達の手本となり、アドバイスをしてくださいました。先輩方は引退されてからも、部活の手伝いに来てくださり、発表前や大会前には、いつも応援メッセージをくれました。

また、普段の生活では、いつも私達に寄り添ってくださいました。私のクラスでは楽しそうに先輩の話をしている人がたくさんいました。先輩方のおかげで、学校や部活になじめた人、学校生活が楽しくなった人がたくさんいます。これからは、私達が先輩方のように、学年の壁のない学校にできるよう精進していきます。

今こうして振り返っただけでも、先輩方はいつも学校のリーダーとして私達を導いてくださいました。次は、私達が柏原中を引っ張っていく番です。今まで先輩方が作り上げてくださった伝統や、行事や部活などに込める思いなど「心」の部分もしっかり受け継いでいこうと思います。

先輩方と過ごした二年間は本当にあつという間でした。できることならもっとたくさん笑いあい、思い出を作りたいかっと思っています。ですが、私達は進み続けなければなりません。これから進む道が違って、この三年間共に学び、共に笑い、困難も乗り越えてきた絆や思い出を忘れないでください。私達は、先輩方とこの学校で生活できたことを誇りに思っています。今まで本当にありがとうございました。

最後になりますが、先輩方のご健康とご活躍を祈念して、送る言葉とさせていただきます。

令和六年三月十五日

在校生代表

「卒業生別れの言葉」

教室の窓から見える風景にも、春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私たち卒業生のために、このような素晴らしい卒業式を開いてくださったことに、心より感謝を申し上げます。私たち卒業生九十二名は、今日の良き日に、この柏原中学校を卒業します。

思い返せば三年前、私たちは大きな期待と不安を胸に、この柏原中学校に入学してきました。柏原中学校で過ごした三年間で、私たちは多くのことを学び、成長してきました。

学年の絆が深まった宿泊学習。キャンプファイヤーでは直前まで降っていた雨が、奇跡的にやみ、みんなで火を囲むことができました。誰からともなく自然と手をつなぎ歌ったCOSMOS。あの時間は、今でも鮮明に覚えています。学年が一つになることの楽しさを知りました。

たくさんの思い出ができた修学旅行。直前の能登半島地震の影響で、当初の予定が大幅に変更となりました。行動計画を考え直すことは、とても大変でしたが、今ではよい思い出となっています。班別行動では、計画通りにいかないこともありましたが、しかし、班の仲間と意見を出し合ったことで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。二日目の夜に行われたナイトフェスティバル。九年間一緒に過ごしていても、知らなかった新たな一面を、見る事ができました。私をはじめ、多くの人が自分の殻をやぶり、それを学年の仲間で、温かく受け止めることができました。

三年生が中心となって、作り上げた体育祭。何度も声をかけあい、団を引っ張っていきました。先頭に立って練習を続け、団を一つにまとめるという経験を通し、大きく成長することができました。応援合戦では、団ごとの気持ちがあつかり合い、熱く思い出に残る体育祭となりました。

市民会館いっぱい歌声を響かせた音楽会。三年間お世話になった学年主任、先生が選んでくださった歌「群青」は、私たちにとって特別なものです。私たちは歌うことが苦手でした。しかし、この歌で、先生に思いを届けたいという一心で、ホール全体が感動する歌を創り上げることができました。先生、この歌を私たちに教えてくださりありがとうございました。私たちはこの後、最後の「群青」を歌います。お世話になった人、全員に思いが届けば嬉しいです。

このように私たちはとても充実した三年間を過ごしました。柏原中学校で過ごした三年間は、一生の宝物です。すばらしい三年間を過ごせたのは、たくさんの人たちに支えられたおかげです。いつも優しく、時に厳しく指導してくださった先生方。私たちのことを大切に育ててくれたお父さん、お母さん。本当にありがとうございました。そして、在校生のみなさん、来年はみなさんがこの柏原中学校を引っ張っていく番です。一人一人が力を合わせて、柏原中学校をさらに笑顔のあふれる学校にしていってください。

これから私たち卒業生九十二名はそれぞれの進路に向かい、飛び立っていきます。これからも応援よろしくお祈りします。柏原中学校のさらなるご発展を、心よりお祈りし、別れの言葉といたします。

令和六年三月十五日

卒業生代表

※ 横書きですが、数字は漢数字で表記しています。